

# 慢性腎臓病(CKD)

# シールについて



腎臓内科部長  
(血液浄化管理室長)  
**岩下 裕**  
【いわした・ゆう】

島根大学:平成23年卒業  
臨床研修指導医  
日本内科学会内科指導医  
日本内科学会認定内科医  
日本腎臓学会腎臓専門医・指導医  
日本透析医学会透析専門医  
日本急性血液浄化学会認定指導者  
日本救急医学会会員

腎臓内科の岩下と申します。今回は島根県薬剤師会浜田支部と当科協同で運用開始を予定している慢性腎臓病(CKD)シールについて説明をさせていただきますと思います。

浜田医療センターの理念

医療を通じて

「地域で生きる」を

支援する

## 基本方針

1. 安全で良質な医療の提供
2. 患者に寄り添った医療
3. 介護、福祉との連携
4. 地域の町づくりに貢献
5. 地域住民と職員の健康増進
6. 持続可能な健全経営

## 患者さんの権利

- ・ 人格・価値観が尊重される権利
- ・ 良質な医療を受ける権利
- ・ 十分な説明と情報を得る権利
- ・ 自己決定の権利
- ・ 個人情報を守られる権利

当院を身近に知っていただくため公式ホームページ及び公式 facebook を作成しています。一度ご覧ください。

### ホームページ

<https://hamada.hosp.go.jp/>



### facebook

<https://www.facebook.com/hamadamedicalcenter>



🔍 浜田医療センター で検索!

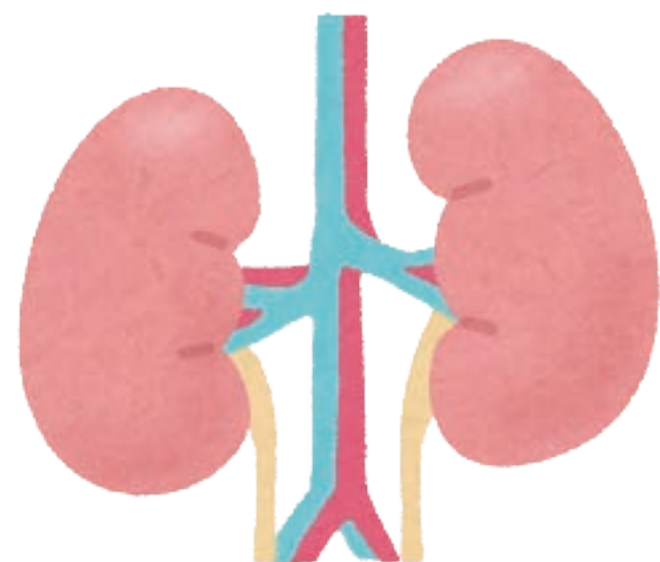
## contents

- 2~4 特集:慢性腎臓病(CKD)シールについて
  - 5 認定看護師の活動について
- 6~7 新任医師・研修医紹介
- 8~9 看護学校だより
- 10 地域連携室
- 11 夏の特別メニュー / 職員募集
- 12 外来診療担当医表

## 慢性腎臓病とは (Chronic Kidney Disease : CKD)

腎臓(じんぞう)はそら豆の形をした握りこぶしくらいの大きさの臓器で腰のあたりに右と左に一つずつあります。代表的な働きとしては尿を作り、毒素や老廃物、余分な水分を体の外に出し、血液をきれいにします。その他にも血圧を調節したり、貧血を改善したり、骨を丈夫にしたりとたくさんの役割を担っています。

慢性腎臓病(CKD)とは腎臓の機能が健康な方と比較して60%以下に低下する、もしくは蛋白尿が陽性になるなど腎臓の異常が持続している状態を指します。日本の成人の8人に1人が罹患している国民病です。多くの場合、自覚症状がないまま徐々に腎機能低下は進行し、自覚症状が出るころにはすでに末期腎不全の状態となっていることも少なくありません。そのため健康診断や医療機関での尿検査や血液検査による早期発見、そして早期治療がとても大切です。加齢や生活習慣病、糸球体腎炎など腎機能低下の原因はさまざまです。CKDの原因によっては確立された治療方法もありますが、一度CKDの状態に至ってしまうと腎機能は正常な数値に戻ることはなく、腎機能を改善させる薬もありません。さらに病状が進行すると透析や腎移植が必要になります。またCKDになると心筋梗塞や脳梗塞といった重大な疾患を発症する危険性が高まります。



## CKDシールとは

薬剤の多くは肝臓や腎臓で処理されています。そのためいくつかの薬剤では、腎機能の低下したCKD患者には使用できないもの、または減量が必要なものがあります。CKDは進行性の疾患であり、現在の医療では基本的に根治することはありません。そのため、いかに進行を遅らせるかが重要ですが、患者がかかりつけ医とは異なる医療機関を受診した際に、

患者の状態の情報共有が十分ではないため、不適切な投薬により予期せぬダメージを腎臓にあたえてしまうケースがあります。本邦では患者がさまざまな医療機関に自由に受診することができるという良い面がある反面、かかりつけ医と新しい医療機関との情報共有が十分に成されにくいという問題点があります。CKDシールはそういった場面で患者、医療スタッフの間の情報共有に有効なツールとして岡山県、滋賀県、秋田県など複数の都道府県で運用され、効果を上げています。お薬手帳に貼ることで一目見て患者の腎機能の状態を共有することが可能です。

腎機能eGFR60未満では対象患者が多いため、今回当方で作成したCKDシールでは、よりリスクの高いeGFR30未満を対象としています(eGFRは腎機能の指標のひとつです)。

## CKDシールを お薬手帳に貼ることで

①あなたの腎臓の状態を簡単、正確に医師に伝えることができます。特にかかりつけ医以外の新しい医療機関を受診した際に医療スタッフにCKDであることを示す目印になります。



②薬局がCKDシールを確認することで薬のチェックや相談がしやすくなります。



腎臓専門医が患者さんの状態に応じてシールをお渡しします。次のページのようにシールを貼ってください。





## ●CKDシールの貼り方

一目見てわかるように、  
表紙に貼り付けてください。



CKDシールを見せることで  
医療者は患者さんの状態を理解し、  
適切な治療、検査を  
することができます。



CKDシールを活用し、検査や治療、処方を受ける際にはぜひお薬手帳の提示をよろしくお願いいたします。

当院に受診歴がない患者様でCKDシールだけでも欲しい、という希望があればぜひ当科外来にご連絡ください。腎機能がわかる採血結果があれば医師の判断の元、CKDシールをお渡しします。腎臓を守ること、それが我々腎臓内科の使命です。



腎臓サポート協会のそらまめくん